

## **・海外感染症流行情報 2023 年8月**

### **(1) 全世界:新型コロナウイルス流行状況**

8 月は日本や韓国の属する WHO 西太平洋地区で新型コロナウイルスの感染者数が増えています (WHO Corona virus disease 23-8-17)。また、感染者数そのものは多くありませんが、米国やヨーロッパでも感染者数が増加傾向にあります (米国 CDC 23-8-19, ECDC 23-8-18)。ウイルスの種類はオミクロン株の XBB 系統が大多数を占めており、その一つの EG.5 が主流になってきました。免疫逃避をしやすいタイプであり、その影響で世界的に増加している可能性もあります。日本では 8 月になり感染者数が全国的に増加し、夏の流行状態にあります (厚生労働省 23-7-21)。お盆休みの期間は感染者数が横ばいになっていますが、9 月上旬まではこの流行が続くと考えられています。

### **(2) アジア:韓国でのマラリア流行**

今年は韓国で三日熱マラリアの患者が増加していることを前号で紹介しました。その後も患者数は増加し、7 月末までに 400 人以上になっています (Outbreak News Today 23-8-6)。これは昨年同期の倍以上の数です。患者の 6 割以上は北西部の京畿道で発生しており、仁川やソウルでも患者発生がみられています。韓国滞在中も蚊に刺されないように注意してください。

### **(3) アジア:アジア各地で Dengue 熱患者が増加**

8 月になりアジア各地で Dengue 熱患者が増加しています。台湾では 8 月中旬までに 1500 人以上の患者が確認されており、このうち 8 割は台南市での感染でした (Outbreak News Today 23-8-16)。東南アジアでは、フィリピンで 8 万人、マレーシアで 7 万人、ベトナムで 5 万人の患者が発生しており、マレーシアでは昨年の 2 倍以上の数になっています (WHO 西太平洋 23-8-17)。南アジアのバングラデッシュでも、8 月上旬までに 7 万人近い患者が首都ダッカなどで発生しました (WHO 23-8-11)。同国では死亡者も 300 人以上が確認されており、通常の Dengue 熱の致死率よりも高い数値です。この原因としては、従来と別の型の Dengue ウイルスが流行している可能性が考えられています。

### **(4) アジア:香港などでインフルエンザ流行が発生**

南半球の冬のインフルエンザ流行は収束していますが、アジア東部でインフルエンザの流行がみられ

ています(WHO 23-8-21)。東南アジアではフィリピン、カンボジア、ミャンマーなどで A 型の患者が増加しています。香港でも A(H3N2)型の患者数が増加し、夏の流行になっています(香港保健局 23-8-24)。

#### **(5) アジア: マレーシアで狂犬病患者が増加**

マレーシアは狂犬病のリスクが低い国とされてきましたが、ボルネオ島のサワラク州で 2017 年頃から患者数が増加しています。今年は 8 月中旬までに 15 人の患者が確認されており、昨年の倍近い数になりました(Outbreak News Today 23-8-11)。マレーシアでボルネオ島に滞在する場合は、狂犬病のワクチン接種を受けることをご検討ください。

#### **(6) 北米: 米国でマラリア、デング熱患者が発生**

今年は米国でも、マラリアやデング熱など蚊媒介感染症の患者が発生しています。フロリダ州では 8 月中旬までに 7 人の三日熱マラリア患者が確認されており(米国 CDC 23-8-22)、8 月には首都ワシントン D.C.近郊のメリーランド州で熱帯熱マラリア患者が発生しました。米国内でマラリア患者が発生したのは、フロリダ州で 20 年ぶり、メリーランド州では 40 年ぶりです。米国 CDC は米国内でマラリアに感染するリスクは、現時点では低いとのコメントを出しています。なお、フロリダ州では 8 月中旬までに、マイアミなどでデング熱の患者が 11 人確認されました(フロリダ州保健局 23-8-12)。